

第42回 うつのみやこども賞だより

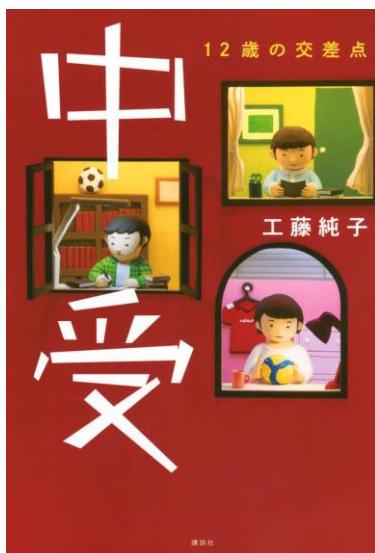
令和7(2025)年度 7回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番友達にすすめたい本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『中受 12歳の交差点』

工藤 純子／著 和田 治男/ミニチュア写真 (講談社)



令和7年12月 7日

『ミクとオレらの秘密基地』

真栄田 ウメ／作 カシワイ／絵(岩崎書店)

- 二人のおかげでミクがいろいろ話すようになってよかったです。
- 笑わない女を笑わしてやろうという気持ちだけでミクに近づいていっていたけれど、どんどんミクと仲よくなっているよかったです。
- ミクにいろいろなじじょうがありおもしろかったです。
- すこしやりすぎではないかとはおもったけど、どりょくでミクがたすけられていてよかったです。
- 男女、病気、性格関係なしにおちこんでいたミクと友情をつかめられた主人公はすごいと思いました。
- 海なし県だからか、「カイジ」や「カイホ」という言葉が新鮮だった。

『花の子どもたち』

小手鞠 るい／作 丹下 京子／装画・挿絵 (フレーベル館)

- 銃規制について出場メンバー1人ひとりに答えがあつても、それを討論会で意見を出すことが大事なんだなと気付けた。
- アメリカと日本のちがうところにおどろかされたり、自分の考える「ふつう」が「ふつう」でなくなるなど共感もできました。世界が広がることが分かるお話でした。
- アメリカと日本のちがいがたくさんあって日本もアメリカのような学校になればいいと思った。
- リサーチの意味など、とっても大切なものをしました。
- あさま山そう事件についてくわしくは知らなかったから、そんなことが日本でおこったというのにおどろいた。

『まるみかん大一番』

まはら 三桃／作 丹地 陽子／装画・挿絵 (小学館)

- まるみかんはみんなの思い出がたくさんつまっているいい場所なんだなと思った。
- 研心が好きなすもうの番付でまるみかんのよいところを伝えていたのがおもしろかったです。
- 大切な「まるみかん」を守るために、苦手なタイプの銀河や広也といっしょにあそこまで行動できるのはすごいと思った。
- 最初はする閉館予定だった図書館でしたが、みんなで協力して残したい人の署名を集めて発表していたのがすごく感動したのでおもしろかったです。
- さいごに図書館を守り切れてよかったです。